

森のムツレ教室とは？

約 60 年前、ヨスタ・フロム氏によって作られたスウェーデン発の幼児自然環境教育プログラムです。持続可能な未来の社会の担い手を育てることを目指し、世界に広がっています。

(一社)日本野外生活推進協会
2023.11.22 発行



ごあいさつ

一般社団法人 日本野外生活推進協会
代表理事 高見 豊

最近の世界情勢においては、ウクライナとロシアにおける激しい戦闘が続く中、中東でもハマスの攻撃に始まり、イスラエルの激しい攻撃が続いています。多くの子どもたちが犠牲になっていく状況を見るにつけ心が痛みます。

戦火から逃れ、おびえて暮らしている子どもたちが一日も早く、安心して自然の中で楽しく遊び学べる日が来ることを願っています。

さて、今年の夏は猛暑が続き、11月初旬まで日中は25度前後まで気温が上がり、秋とは思えない毎日でしたが、急に寒くなってまいりました。皆さまには、ご健康でお過ごしでしょうか。また、全国のムツレリーダーの皆さま、秋のムツレ教室が楽しく開催できていますでしょうか。

本年5月初旬に実施いたしました、創立30周年記念事業には、ネットワーク団体の皆さま、リーダーの皆さまに大変お世話になりましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で計画をいたしました事業で、何かと十分行き届かなかった点があったと思いますが、丹波市市島町で実施いたしました「30周年記念式典」をはじめ、奈良で実施いたしました、第7回「森のムツレ国際シンポジウム in ジャパン」には、たくさんの皆さまにご参加いただき、盛大に実施することができましたこと、感謝いたしております。

特に、奈良の実行委員会の皆さまには、国際シンポジウムの企画に長きにわたりご協力いただきありがとうございました。国際シンポジウムに参加していただ

きました海外の皆さまには、大変喜んでいただきご満足いただきました。

これも皆さまのおかげであると、役員全員深く感謝いたしております。

30周年記念事業で残っています事業は「創立30周年記念誌」だけとなりました。当協会では30周年事業の内容を含めた「創立30周年記念誌」の作成に取り組んでおります。協会30年の歩みを振り返るとともに、協会の更なる発展につながるよう、内容を検討しております。完成いたしましたら、リーダーの皆さまにぜひ読んでいただきたいと思っています。

2023年も、あとわずかになってまいりました。リーダーの皆さまにとって、子どもたちにとって、くる年が良き年になりますことを、心よりお祈りいたします。

理事

- | | |
|------|--------|
| 代表理事 | 高見 豊 |
| 理事 | 君塚 昌俊 |
| 理事 | 小山 通子 |
| 理事 | 西村 恭子 |
| 理事 | 本莊 賀寿美 |
| 理事 | 原田 優 |
| 理事 | 荻野 尚子 |
| 理事 | 細見 裕美子 |
| 理事 | 吉住 亜由美 |
| 理事 | 高見 美保 |
| 監事 | 足立 邦明 |
| 監事 | 中井 千晶 |



事務局

- | | |
|--------------|--------|
| 事務局長 | 高見 幸子 |
| 協会事務局事務員 | 松本 みゆき |
| ネットワーク事務局事務員 | 松枝 純 |

日本野外生活推進協会 創立 30 周年記念式典 第7回「森のムッレ国際シンポジウム in ジャパン」が開催されました

日本野外生活推進協会 創立 30 周年記念式典

2023年5月2日(火) 13時30分～ライフピアいちじま(兵庫県丹波市市島町上田814)にて開催

- ・開会
- ・実行委員長挨拶
- ・会長挨拶
- ・表彰式
 - ・個人表彰 永年功労者表彰
 - ・団体表彰 永年功労団体表彰
普及貢献功労団体表彰
- ・感謝状贈呈
- ・森のムッレ財団からの表彰
「森のムッレ功労賞」
- ・来賓の皆さまからのご祝辞
- ・祝辞紹介
- ・ビデオ上映
「スウェーデンムッレボーイ保育園の誕生から」
- ・フィーカ及び交流会
- ・閉会



高見 豊 代表理事



原田 優 実行委員長



来賓の皆さま(左から)

石川憲幸 兵庫県議会議員
林 時彦 丹波市長
片山則明 丹波市教育長
山名隆衛 丹波市議会議員
渡辺秀幸 丹波市議会議員
坂谷高義 元未来塾塾長

原田優30周年記念式典実行委員長、当協会代表理事の高見豊の挨拶により、開会いたしました。

この式典には、全国からネットワーク団体16団体、国内リーダー32名、海外リーダー8名、また6名の来賓の皆さまにもご臨席賜りました。

個人表彰

永年功労者表彰(右から)

足立邦明 氏
君塚昌俊 氏
荻野尚子 氏
西村耶須子 氏





団体表彰

永年功労団体表彰(右から)

認定こども園いちじまこども園

田野 悟 園長

認定こども園あいいくの丘

浅田尚克 園長

森のムッレ篠山

本莊賀寿美 リーダー

森のムッレ市島

吉積洋子 代表

団体表彰

普及貢献功労団体表彰(右から)

三菱電機株式会社

館下英司 氏

環境ネットワーク「虹」

NPO 法人ふくつ子どもステーションステップ

佐伯美保 代表

森のムッレ協会新潟

阿部桂子 氏

三条公子 代表

大阪大谷大学

井上美智子 教授



感謝状贈呈

当協会発足当初からムッレ教育の指導、バックアップいただいたスウェーデンの講師の皆さまへの感謝状です

(右から)

パウラ・ルスコ 氏

カイサ・シェルストローム 氏

シーブ・リンデ 氏

マグヌス・リンデ 氏





スウェーデン「森のムツレ財団」より「功労賞」受賞
当協会30年の功績を讃えられ「功労賞」を受賞、
同財団の理事 カイサ・シャルストロム氏と高見幸子
氏から授与されました。



海外からの祝辞ビデオ
スウェーデン「森のムツレ財団」理事の皆さま(写真左)
スウェーデン野外生活推進協会本部
会長 エーリック・ルンドヴィク 氏 (写真上)



ご来賓の皆さま、ネットワーク団体及びリーダーの皆さまにおかれましては、遠方より公私ご多用
のところご臨席賜り、また国内外からのご祝辞を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

創立 30 周年を迎え、伝統を継承しつつ、さらなる新たなチャレンジを続けてまいりますので、
今後とも、皆さまのご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第7回「森のムツレ国際シンポジウム in ジャパン」

1日目 2023年5月4日(木) 9時30分開会 講演会、事例発表等

会場 奈良教育大学(奈良市高畑町)

2日目 2023年5月5日(金) 野外プログラム 国内外の野外食

3日目 2023年5月6日(土) 野外プログラム 公開教室

会場 奈良市青少年野外活動センター(奈良市阪原町25-1)

1日目 公開セミナー テーマ「森のムツレ教室とは・・・」

ライラ・グスタフソン博士(クリスチヤンスタッド大学教育学上級講師、スウェーデン「雨の日も 晴れの日も」野外就学前教育研究所の理事)による「これからの持続可能なライフスタイルに向けた体験型の幼児教育」と題した動画(2022年12月3日に開催された日本自然保育学会第7回大会の基調講演として録画)を視聴後、パネルディスカッションを行いました。



中澤静雄氏
(奈良教育大学教授)



中室雄俊氏
(奈良保育学院学院長、
元奈良市教育長)



廣瀬聡弥氏
(奈良教育大学教授)



岡本麻友子氏
(森のようちえんウィズナチュラ代表)



海外パネラーとして、シーブ・リンデ氏(スウェーデン初の野外保育園 ムツレボーイ園創設者・元園長)、マグヌス・リンデ氏(元野外生活推進協会リディング支部長)、カイサ・シェルストロム氏(ムツレボーイ園 園長)、パウラ・ルスコ氏(ムツレボーイ園 元保育士)にもご参加いただきました。

現在の保育の実情、野外保育の有効性と安全管理など、国内外のパネラーの皆さまの活発なご発言により、これからの幼児教育としてのムツレ教育の必要性を感じることができました。

通訳のルンドベリ由里氏(E-House International School ムツレリーダー)、今回の公開セミナーのために講演動画を貸与いただきました日本自然保育学会様、山口美和教授(上越教育大学大学院)、この紙面を借りまして、改めて厚く御礼申し上げます。

1日目

基調講演「現在デジタル社会を生き抜く」幼児期～成長期の自然活動は私たちに何を与えているのか

講師 鵜飼 渉 氏 (札幌医科大学医学部神経精神医学講座 准教授)

日々進化するデジタル社会において、今私たちは子どもたちに何を与えていけるのだろうか…。子どもの脳への影響、心身発達のためのアプローチなど、軽妙な語り口で伝えていただきました。



1日目 森のムツレ教室 事例発表



森のムツレ協会新潟 三条正道氏



NPO 法人響育の山里くじら雲 依田敬子氏



三菱電機株式会社 磯貝吉男氏



森のムツレ市島 吉積洋子氏 西村恭子氏



環境ネットワーク「虹」 佐伯美保氏



NPO 法人奈良地域の学び推進機構 三宅基之氏

各団体の紹介、またそれぞれのお取り組みの内容と近況等、ご報告いただきました。英訳を付けていただいたパワーポイントでの報告もあり、海外からの参加者の皆さまにも好評いただきました。お忙しい中、事例発表をお受けいただき、ありがとうございました。

2日目 自然の中でのアクティビティ(参加国・参加グループからのゲーム披露)



2日目 自然の中でのアクティビティ

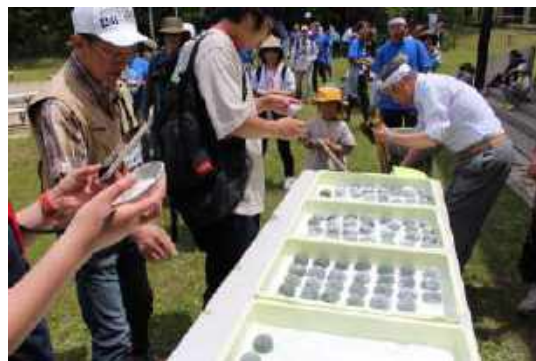
(自然の道クイズ、ムツレ・ラクセ・フェルフィーナ・ノーバ登場)



2日目 自然の中でのアクティビティ(グループ活動 竹で工作)



2日目 国内外の料理で野外食と親睦交流パーティー



昼食は野外で。
草餅、山野草の天ぷら、竹を使った炊き込みご飯、鮭の
ホイル焼き、コケモモジャムのパンなど…、
各国の料理を通じ、食の異文化を体感いただきました。





夕食は室内で。
親睦交流パーティーで国内外の
リーダーとの交流を深めました。
手打ちそばもご用意いただきました。

海外からの参加リーダー

スウェーデン 6名 シーブ、マグヌス、カイサ、
パウラ、マリア、ケント

イギリス 2名 シャーリル、マイク

フィンランド 1名 アヌカ

香港 1名 クリステーナ



3日目 森のムツレオープン教室



初めての参加者を含めて各教室が開催され、興味深々でいろいろな体験にチャレンジいただきました。
最後には、「森のムツレ国際シンポジウム宣言」が発表、参加者全員にサインいただきました。

森のムツレ国際シンポジウム宣言

世界は感染症拡大によるパンデミックから未知の微生物との出会いとその影響を学び、新たな世界を目指そうとしています。

ヨーロッパの紛争により世界の人々は改めて強く平和を希求しています。急激に進化しているデジタルの世界では、生成 AI がシンギュラリティを迎える可能性があるとして、有識者から開発の一時中断を求める声までありました。

急速に進化する人工知能が社会に与える影響を見すえ、民主的な価値や人権を守る「責任ある AI」の実現が求められています。

現代の子どもたちは、このような世界の大きな変化の中で生まれ育ちます。私たちが生きる社会は、子どもが子どもらしく生きる権利、幸せに生きる権利、自然と共に生きる権利を強い意志と連帯で、守り育てなくてはならない時代にあるのではないのでしょうか。

私たちのメッセージは、次のとおりです：

私たちは、森のムツレの活動を通して、子どもが自然との出会いの中で「人間は自然の大きな循環の中で生かされている」ことを体得できるようにいざない、「自然を愛し、お互いを愛し、個を尊重し、認め合うようになるために、子どもたちをサポートします。誰でも愛するものは大切にするものです。私たちの共通の目標は、森のムツレの活動に、誰一人取り残すことなく参加できるようにし、あらゆる年齢層の、あらゆる国の子どもたちが、お互いに、そして家族と一緒に、平和に自然の中で遊び、学ぶ機会を与えられるよう行動することです。

それが、すべての子どもたちの学習、発達、健康、人生の楽しみのための最良の基盤を作ると信じています。

海外参加者の視察、見学、表敬訪問

4月30日(日)大阪府貝塚市 Mikke Garden「ムツレ教室」「ストローバレ教室」見学
5月1日(月) 丹波市教育委員会表敬訪問、「ちーたんの館」見学
丹波市市島町 妙高山クリンソウ自生地の散策、酒蔵見学
5月2日(火) いちじまこども園、あいいくの丘 丹波市市島町2園の視察
日本野外生活推進協会創立30周年記念式典
歓迎会
5月3日(水) 奈良市役所表敬訪問、奈良観光
東大寺訪問
5月4日(木) 森のムツレ国際シンポジウム1日目 公開フォーラム、パネルディスカッション
基調講演、国内外事例発表
5月5日(金) 森のムツレ国際シンポジウム2日目 野外プログラム 国内外の野食
5月6日(土) 森のムツレ国際シンポジウム3日目 野外プログラム 公開教室
5月7日(日) オプションツアー

認定こども園いちじまこども園(兵庫県丹波市市島町)視察



認定こども園あいくの丘(兵庫県丹波市市島町)視察



Mikke Garden(大阪府貝塚市)「ムツレ教室」「ストローバレ教室」見学



日本のムツレ活動の第一歩である認定こども園いちじまこども園、認定こども園あいくの丘の2園への視察、新しく活動を始められた Mikke Garden の活動見学、また、丹波市教育委員会及び奈良市役所への表敬訪問、あらゆる方面へ訪問いただきました。
受け入れいただいた団体各位につきましては、事前準備、また当日は快くお迎えいただきましたこと、この紙面を借りまして、厚く御礼申し上げます。

2024年度の全国シンポジウムは 山形県米沢市

2025年度の国際シンポジウムは イギリス に決定しました

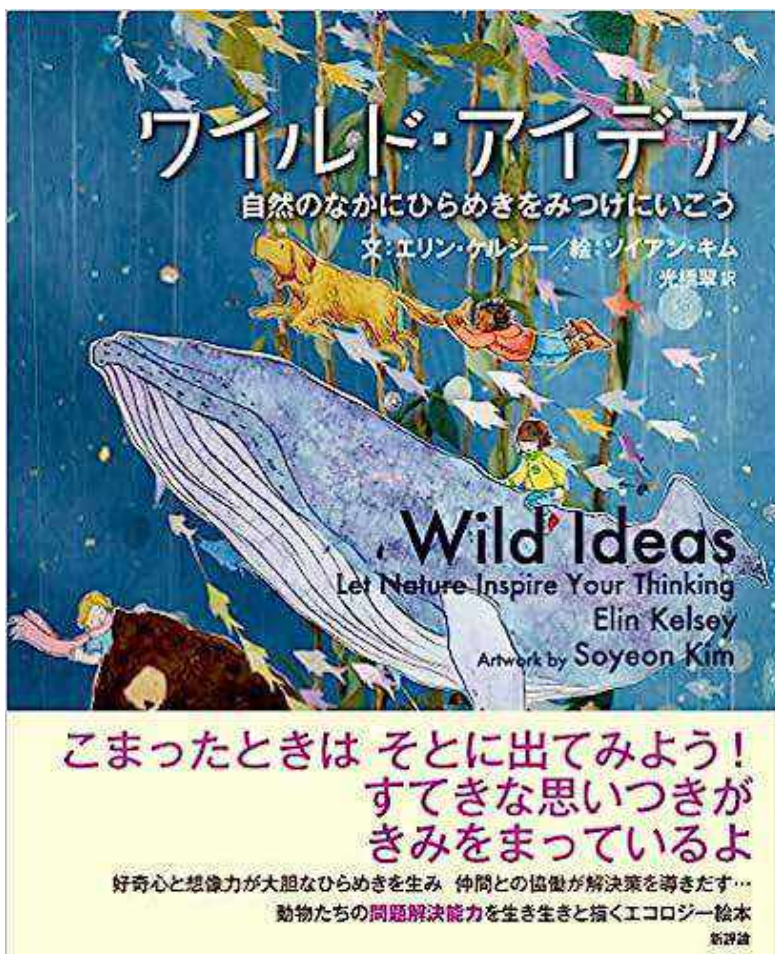
今回の国際シンポジウムにおいて、2024年度の全国シンポジウム及び2025年度の国際シンポジウム開催地の発表がありました。

全国シンポジウムは、NPO法人青空保育たけの子（辺見妙子代表）の活動拠点である山形県米沢市において、

国際シンポジウムは、イギリスにおいて、2025年6月～7月での開催予定です。

くわしい情報については、随時お知らせいたします。

＊＊出版情報＊＊



ワイルド・アイデア

自然のなかにひらめきを見つけにいこう

文:エリン・ケルシー／絵:ソイアン・キム

光橋翠訳

出版社 新評論

発行年月日 2023年 6月 25日

定価 1,760円

ISBN ISBN978-4-7948-1239-1 C8740

ワイルド・アイデア

自然のなかにひらめきを見つけにいこう

ムッレリーダーの光橋翠氏が絵本の翻訳本を出版されました。

世界的に活躍する環境教育者エリン・ケルシーの前作『きみは星のかけら』の続編、『ワイルド・アイデア』が出版されました。野生の動物たちが、いろいろな問題に出会いながらも、ユニークな解決方法を見つけてたくましく生きていく姿が、楽しい詩的表現と美しいジオラマ作品を通して描かれています。ケルシーは、そんな動物たちの姿から、私たち人間も生きる知恵を学んでみようと呼びかけます。未来を生きる子どもたちに、勇気と希望を与えてくれる一冊です。野外での子どもへの読み聞かせにも最適です。ぜひ子どもたちと、センス・オブ・ワンダーを掻き立ててくれる動物たちの世界に触れてみてください。

[ワイルド・アイデア 自然のなかに ひらめきを見つけにいこう | 新評論 \(shinhyoron.co.jp\)](http://shinhyoron.co.jp)

※ 投稿募集 ※

ご自身のムッレ活動や野外活動に関する情報ご意見・ご感想を募集しています！

ご投稿お待ちしております。 担当：松枝